

# 資料 2

## 平成 21 年度高齢者虐待防止対策事業内容

高齢者虐待を発生させない十分な相談体制の確保と関係者の高齢者虐待への理解等を深めること、また虐待を受けている高齢者への反応と養護者への支援策を検討することを目的として取り組んだ。

### 1. 高齢者虐待の対応のための体制整備

#### a 養介護施設従事者等による虐待への対応フローチャート検討

養介護施設従事者等による虐待への対応フローチャートを作成、今後の対応に活用していくため行政関係者で検討会を実施、共通理解を図った。

#### b 高齢者虐待対応専門職チームの活用

80 代女性に対する長男による身体的虐待ケース

70 代男性に対する妻と長女による身体的・心理的・経済的虐待ケース

80 代女性に対する長女による経済的虐待ケース

### 2. 一時保護・措置入所状況

#### a 緊急保護施設の確保

高齢者虐待等で一時的に保護を要し、入所やショートの利用が困難な場合に備え、緊急時の一時避難の居室を確保している。

平成 21 年度利用 3 件

#### b 措置・ショートステイ

高齢者虐待によるやむを得ない事由により介護保険サービスを受けることができない場合に、介護老人福祉施設等に一時的な入所の措置を行い、その後の処遇を検討していく。

平成 21 年度利用	ショート	2 件	( 短期入所施設	2 件 )
	入所	1 件	( 特養	1 件 )

### 3. 職員に対する研修会の実施状況

#### a 高齢者虐待防止担当職員研修

(1) 日時：平成21年11月20日・11月30日（全2回開催）

対象：各区健康福祉課担当者・各地域保健福祉センター職員・各地域包括支援センター職員

第1回 57名 ・ 第2回 58名

講師：社会福祉法人浴風会 浴風会ケアスクール校長 服部 安子氏

「権利擁護の視点を振り返り、対人援助技術を鍛える」

内容：第1回 11月20日 内容：高齢者の虐待の基本的理解と構造

第2回 11月30日 内容：専門職としての実践力を高める

(2) 日時：平成22年2月1日・2月8日（全2回開催）

対象：各区健康福祉課担当者・各地域保健福祉センター職員・各地域包括支援センター職員

第1回 53名 ・ 第2回 53名

講師：日本高齢者虐待防止センター 理事・事務局長 梶川 義人氏

「成功事例と失敗事例の蓄積からよりよい対応方法を科学的に考える」

内容：第1回ネットワークやチームアプローチを十分機能させる

第2回アセスメントと支援計画立案を適切に行えるようにする

支援計画実施の技能を磨くことを科学的に考える

### 4. 高齢者虐待防止対応検討会開催

養介護施設従事者等による虐待への対応フローチャート作成し、今後の対応に活用していくため行政関係者で検討会を実施した。

日時：平成22年2月10日・3月19日（2回開催）

対象：各区高齢介護係・高齢介護課職員

内容：養介護施設従事者等による高齢者虐待への対応フローチャート検討

フローチャートの活用・周知について